

会 議 録

会議の名称	令和7年度第1回和泉市社会教育委員会議
開催日時	令和8年3月3日(火)13時00分から14時15分まで
開催場所	和泉市役所本館 3階 庁議室
出席者	<p>【委員】 (順不同)葛城委員、坂井委員、上西委員、澤村委員、上田委員、金谷委員、井上委員</p> <p>【事務局】 大槻 教育長 辻 教育次長兼生涯学習部長 森下 生涯学習部次長兼文化遺産活用課長 前田 生涯学習推進室長 橋本 生涯学習担当課長、和田 総括主幹、松下 総括主査 富岡 スポーツ振興担当課長、北野 総括主幹 藤原 青少年センター所長 横田 久保惣記念美術館 館長代理</p>
会議の議題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教育長挨拶 2. 委員等紹介 3. 議案 (1)令和8年度社会教育関係団体に対する補助金の交付(案)について (2)生涯学習推進委員会の廃止に伴う生涯学習スポーツ推進計画の進行管理について 4. 報告 (1)令和7年度 生涯学習部関係の主な事業の実施状況について (2)令和8年度 生涯学習部関係の主な事業の実施予定について (3)令和7年度 社会教育委員会議・研修等の実施状況について (4)令和8年度 社会教育委員会議・研修等のスケジュールについて 5. その他
会議の要旨	・報告事項について、事務局から説明を受け、意見交換、質疑応答を行った。
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 要点記録
記録内容の確認方法	<input checked="" type="checkbox"/> 会議の議長の確認を得ている <input type="checkbox"/> 出席した構成員全員の確認を得ている <input type="checkbox"/> その他
その他の必要事項	会議公開・傍聴者0名

審 議 内 容 (発言者、発言内容、審議経過、結論等)

(司会進行:事務局)

・事務局より会議開催についての説明

本委員会は公開で開催すること、傍聴者0名であることを報告

・事務局より出席委員数の確認

委員総数9名のうち、出席者7名、欠席者2名となっており、和泉市社会教育委員会議規則第5条1項の規定に基づき、会議は成立していることを報告。

1. 教育長挨拶

2. 委員等紹介

(司会進行:井上副議長)

3. 議案

(1)令和8年度社会教育関係団体に対する補助金の交付(案)について

令和8年度社会教育関係団体に対する補助金の交付(案)について、事務局より説明

(2)生涯学習推進委員会の廃止に伴う生涯学習スポーツ推進計画の進行管理について

生涯学習推進委員会の廃止に伴う生涯学習スポーツ推進計画の進行管理について、事務局より説明

4. 報告

(1)「令和7年度 生涯学習部関係の主な事業の実施状況について」について

令和7年度 生涯学習部関係の主な事業の実施状況について、事務局より説明

副議長:史跡整備事業について、整備の実施に関して、他の機関との関係について教えてください。

事務局:池上曾根史跡公園は和泉市の所管で、市の事業として整備をすすめています。すぐ隣に泉大津市の弥生学習館という体験施設があり、少し離れたところに、大阪府立弥生文化博物館がございますので、大阪府・泉大津市・和泉市で連携して史跡の活用を進めています。今年度も米作りなどのイベントを三者連携で進めておりますが、史跡の整備は令和10年度と令和13年度を節目とし、令和10年度に多目的広場などの全面供用開始、令和13年度には整備されているところの再整備含めてリニューアルを行います。来年度は池上曾根史跡が指定されて50周年になるため、記念のイベントも実施予定です。

副議長:久保惣のインバウンドモニターツアーについて、参加者が少ないがどのような方法で行ったのかを教えてください。

事務局:委託事業として南海国際旅行に全面委託しました。事業の実施概要としましては、1回あたり16名の募集を行い、計5回、合計80名という企画で進めていました。

直接万博会場でチラシをまいたり、領事館にメールでツアーの概要を送付するなど、周知を図りましたが、思うように人が集まらず計2回、合計26人の結果となりました。

委託料については、減額するなどの対応を行いました。

委員: 交換学生派遣事業について、国際感覚を養うという目的であれば市内の中学生だけでなく、小学生の方も費用等の問題もあるかもしれないが、派遣するなどできないですか。

事務局: 小学生もどうかというご提案をいただいたんですが、一定中学生は、学校の授業の中で、英語の授業を受けているまた、現地に派遣しても、全くしゃべれないままだと、現地の方と交流するのは難しいと思っています。

今回の派遣の学生の、ルールとしまして、英検三級以上を持って人を対象に設置しました。

その中で、しっかり現地に派遣して、日本で役立てるような国際感覚を身につけた学生を育成していこうという目的で行ってる事業でございますので、少なくとも現時点では小学生の派遣は考えておりません。

委員: 交換学生派遣事業について、10名中7名を市の予算で派遣し、残り3名をガバメントクラウドファンディングで派遣しているのですよね。それであれば文化協会の人数も減ってきているため、文化協会の1,300万円の予算の一部を交換学生派遣事業に回すことも方法の一つだと思います。

事務局: 元々6名の学生を派遣したのが2年前の始まりになりまして、その時に良い影響があったので、10名に増やすことにしました。しかし、単に市の予算を費やすだけでなく、ガバメントクラウドファンディングをする意義としまして、広く和泉市民の皆様にも、国際交流を行っているということを周知しながら、皆様に応援をしていただきたいという思いを込めてガバメントクラウドファンディングを実施した経緯があります。しかしながら、安定的に学生を派遣するには、ガバメントクラウドファンディングに頼ることなく、予算を確保したらという委員の意見もありますが、相互の意見も踏まえながら、子供たちの国際感覚を養っていくような事業を推進していきたいと考えています。

委員: 信太の森の古墳をめぐるウォークについて、丸笠山古墳などにも入られたのですか。このあたりを管轄しているのは伯太神社で、その周りの池は水利組合ですが、そういったところとの連携はとれているのですか。

事務局: 文化財活性化推進実行委員会の事業として実施いたしまして、伯太神社、ボランティアで丸笠山古墳の木の伐採等の活動をしている丸笠森の会、観光ボランティアクラブの協力を得て、コースを回りました。

委員: 丸笠山古墳の鳥居が3年程前に壊れかけてまして、下に石が落ちているという話があり、伯太神社の方で修理したことがありました。連携しているとのことでしたが、安全面含めて、今後も地域との連携はしていただいた方がよいと思います。

事務局: 分かりました。

委員: まNAVIのアクセス数について、どのような形で伸びているのですか。

事務局: アクセス数に関しては昨年度より着実に増えてきているが、まNAVIの課題である、登録する又発信するところを、今後もしっかりしていきたいと考えております。

委員: 年代的には、どれぐらいの方がアクセスしているのですか。

事務局:アクセスに関しまして、ネットを通じて見ていただきますので、どの年代が見ているといった集計がとれていません。

(2)令和8年度 生涯学習部関係の主な事業の実施予定について

令和8年度 生涯学習部関係の主な事業の実施予定について、事務局より説明

委員:図書館運営について、富秋学園を地域開放するということだが、これはにじの図書館を閉めて、その代替えの図書館ということになるかと思うが、閉鎖のことについては記載しなくてもいいのですか。

事務局:富秋学園の地域開放につきましては、にじの図書館の代替えという位置づけではなく、新たに設置する富秋学園の魅力の一つとして設置するものです。あくまで市の図書館としましては2館2室として、2館がシティプラザとフチュール、2室が北部リージョンセンターと南部リージョンセンターとして位置づけていますので、富秋学園の地域開放につきましても、学校の授業で使っていない空き時間の一部を地域の方にも入っていただけるような付帯サービスとして位置づけております。

委員:もともとあるにじの図書館を無くすというのが事実でありますので、地域の人への説明も、機会があればしていただければと思います。

委員:以前、幸小学校に勤めていたことから、青少年センターにはお世話になりました。予算を見ましたら微減ということが見受けられる。青少年センターには、どろんこ子ども会、いわゆる留守家庭児童会の機能も持った事業が実施されています。そういった中で予算が減少されていくと、地域の子どもたちを健全に育成できるのかといったことが懸念されるところでありますので、しっかりと予算をつけていただけるとありがたいです。

事務局:ご指摘のありました、すこやか広場事業、通称どろんこ子ども会の予算につきましては、例年よりも若干ですが増えるというところですが、ご指摘いただきました微減のところですが、これはセンターの管理運営事業の方で、消防設備を令和7年度に改修したのがございまして、来年度はその予定がないというところで、25万円程度の減額となっております。

2番目の青少年学習活動推進事業につきましては、消耗品等の例年の不用額等を参考にしながら精査したものでございます。

副議長:いずみの国歴史館で文書館機能が今回から設置されますが、市民の方に対する周知などいろいろやらないと上手く使っていただけないと思いますが、このあたりどのように進められるのか教えてください。

事務局:歴史館の方では、文書館機能をこの4月からオープンさせるのですが、資料の中身が大きく2つありまして、1つは30年近くやっております市史編さん事業で調査収集してきた古文書、もうひとつは、公文書の中で歴史的に重要なもの。それらを保存し公開していくという2つの機能がございます。

ご指摘いただいた市民への周知ということが大きな課題ですけれども、広報の2月号の特集で市制70周年の記事と合わせまして、文書館で公開を予定しています古い写真を紹介し、文書館機能が4月からオープンするということを周知しています。

また、文書館といってもなかなか馴染みがないので、現在、愛称募集を5月までしており、9月1日の市制70周年にあわせて発表したいと考えています。

併せて、4月以降は、デジタルアーカイブも公開して、目録についてはクリックすればすぐ申請書にたどりつく形で考えてますし、画像公開できるものについては、画像公開をし、著作権の問題が無いかについては、自由にダウンロードできるように最終調整をしているところです。

副議長:基礎自治体において、充実した文書館機能を整備しているところは少ないので、和泉市の取り組みに期待しています。

副議長:(仮称)北部総合スポーツ公園について、PFI導入可能性調査を実施するとのことだが、スポーツジムを営んでいる会社など、スポーツ関係への調査を行うイメージか。

事務局:PFI手法は、設計、建設、その後の維持管理・運営まで一体的に民間事業者のノウハウを活用するもので、複数の事業者が関係するケースが多く、調査する民間事業者の業種は、スポーツ関係のみではなく、建設関係や運営管理を行う事業者なども対象に調査します。

委員:PFIの導入は、今の時代、検討する必要があると思うが、複数の組織が関わると動きが悪くなることも考えられるので、メリット・デメリットを整理し、十分に検討しながら進めた方がいい。

(3)令和7年度 社会教育委員会議・研修等の実施状況について

(4)令和8年度 社会教育委員会議・研修等のスケジュールについて

令和7年度 社会教育委員会議・研修等の実施状況について及び令和8年度 社会教育委員会議・研修等のスケジュールについて、事務局より一括説明

5. その他

特になし

(司会進行:事務局)

・これをもって、令和7年度第1回和泉市社会教育委員会議を終了する。